

1	組 織 名 称 (略 称)	Z-Wave Alliance (Z-Wave) http://z-wavealliance.org/						
2	分 類	活動目的	○	仕様策定	－	実装・検証	オープンソ ース	該当なし
			◎	試験・認証	○	普及・啓発		
			－	その他()				
	技 術 M A P	対象技術分 野	③通信技術(近距 離無線: WBAN、 WPAN、WLAN関 連)			対象サービス		①サービス(スマートシティ 関連)
	技 術 M A P	活動エリア	⑤モバイル系領 域を中心に活動 を実施			活動領域		②NW領域の活動を実施
3	目 的	Z-Wave Allianceのビジョンとミッション Z-Wave Allianceは、あらゆる場所でワイヤレスの制御と監視が可能になる時代の実現技術として、Z-Waveを統合的にサポートする。Z-Wave Allianceのメンバーは、ホームコントロール市場をリードし、快適性、利便性、安全性、セキュリティを向上させるシステムを提供している。 Z-Wave Allianceのミッションは次のとおり。 ・ワイヤレス制御の信頼できる標準としてZ-Wave技術に対する消費者の認識を促進する。 ・すべてのメンバー企業のシステムとデバイス間の相互運用性を確保する。 ・将来の製品とサービスに関するコラボレーションの機会とプロセスを提供する。 ・Z-Wave制御製品の採用を加速する ・開発者、エンジニア、インテグレータを対象としたトレーニングを提供し、知識ベースを拡大してZ-Waveの世界的な普及を促進する。 Z-Wave Allianceは、他の大手ホームコントロールメーカーやサービスプロバイダーに対して、ワイヤレスの相互運用性への取り組みに参加し、相互運用性のあるZ-Wave技術を利用した製品を開発、導入することを奨励している。そのビジョンは、殆ど全ての住宅用または軽量の商用製品またはアプリケーションに簡単なワイヤレス制御を可能にする共通の標準の1つである。 https://z-wavealliance.org/zwa-vision-and-mission/						
4	組 織 構 成	・Board(理事会) 10名のBoard of Director(理事)により構成 Ring (Chairman), Lexi Devices, Assa Abloy, Blueslave Partners, Silicon Labs (2名), Johnson Controls, Vivint, ADT, Alarm.com						
5	参 加 資 格 費	・Founding Member: \$65,000/year Z-Wave Allianceの設立メンバーで構成され、理事会における理事ポストを無期限に有する。定款や内規の作成、理事会の設立。 ・Principal Member: \$65,000/year 理事会による投票で、1メンバーが2年間の理事ポストを有することが出来る。全てのCommitteeやWorking Groupで議長を務めることが出来る。Working Groupでの投票権を持つ。また、Z-Wave製品を認証することが出来る。 ・Manufacturer Member: \$10,000/year Z-Wave製品を製造したり認証するOEM/ODM企業向けのメンバーシップ。TechnicalおよびMarketing Committeeに参加、Working Groupの議長を務めることが出来る。Working Groupでの投票権を持つ。理事会による投票で2メンバーが1年間の理事ポストを有することが出来る。 ・Brander Member: \$5,000/year ブランド/ロゴをZ-Wave認証製品に付与できる企業向けのメンバーシップ。Z-Wave						

認証マークを使うことが出来る。また、Marketing CommitteeおよびMarketing Working Groupに参加することが出来る。

- Affiliate Member: \$1,500/year
Z-Wave製品の卸売り販売やZ-Wave技術を採用した製品を開発する企業向けのメンバーシップ。Marketing Working Groupに参加することが出来る。
- Installer/Reseller Member: \$250/year
製品のインストールやコンシューマーへの直接販売をする企業向けのメンバーシップ。Marketing Working Groupに参加することが出来る。
- Individual Academic Member: \$100
ベネフィットはAffiliateと同等。
- Individual Member: \$1,500
ベネフィットはIndividual Academicと同等。

メンバーシップレベルによるベネフィットの違い

	FOUNDER	PRINCIPAL	MANUFACTURER	BRANDER	AFFILIATE	INSTALLER / RESELLER
FOUNDING MEMBERS						
Create charter, bylaws, establish Board, set Board size	X					
BOARD OF DIRECTORS						
Board Seat with No Term Limits	X					
Board Seat 2-year terms (voted by current board)		X (B)				
Board Seat 1-year terms (voted by current board)			Up to 2			
COMMITTEES						
Chair Committees (Executive, Finance, Marketing, Technical)	X	X				
Participate on Executive & Finance Committee	X	X				
Participate on Technical Committee	X	X	X			
Participate on Marketing Committee	X	X	X	X		
WORKING GROUPS						
Eligible to Chair working groups	X	X	X			
Voting rights in working groups	X	X	X			
Participate in technical working groups	X	X	X			
Participate in marketing working groups	X	X	X	X	X	X
PRODUCE PRODUCTS						
Products can be certified	X	X	X			
Can Brand/Adopt certified products	X	X	X	X		
ADDITIONAL BENEFITS						
Alliance spokesperson	X	X				
Participate in technical events	X	X	X			
License to use Z-Wave Certification marks	X	X	X	X		
Organizational voting rights	X	X	X			
Access to final, approved specifications	X	X	X	X	X	
Inclusion in Alliance marketing and PR efforts	X	X	X	X	X	X
Participate in general/annual meetings	X	X	X	X	X	X
Participate in Z-Wave Pavilions and Summits	X	X	X	X	X	X
Access to member only website / directory	X	X	X	X	X	X
Permitted use of Z-Wave logo for marketing purposes	X	X	X	X	X	X
Access to Alliance education tools	X	X	X	X	X	X
Receive Member Communications / Z-Wave newsletter	X	X	X	X	X	X
Listed as a member on Z-Wave Alliance website	X	X	X	X	X	X
Use of Z-Wave Installer logo	X (A)	X (A)	X (A)	X (A)	X (A)	X (A)

(A) Can use if they have completed Z-Wave certified training and install product

(B) Number required to fill the board seats after Founding Members; BoD position for 2-year terms

(C) Minimum membership level for non-Z-Wave technology use

<https://z-wavealliance.org/join-z-wave-alliance-now/>

6 主 要 メ ン バ
(2023年6月現在)
(注1)

メンバ数: 159メンバ(内日系: 7メンバ、Installer/Reseller Memberを除く←昨年までは把握できなかったため今年も除外)

- Founding Members: 5メンバ(内日系: なし)
Alarm.com, Assa Abloy, Johnson Controls, Ring, Silicon Labs
- Principal Members: 2メンバ(内日系: なし)
ADT, Vivint SmartHome
- Manufacturer Members: 108メンバ(内日系: 5メンバ)
アツミ電気、JLabs、ミツミ電機、美和ロック、シャープ
- Brander Members: 27メンバ(内日系: 1メンバ)
岩通
- Affiliate Members: 17メンバ(内日系: 1メンバ)
バッファロー
- Installer/Reseller Members: 28メンバ(内日系: 1メンバ)
ダイキン(シンガポール)

7 他 団 体 ・ 組 織 と の 関 係

Z-Wave Allianceは、スマートホームとビジネス、デジタルヘルスとウェルネス、エネルギー管理、そして21世紀の接続された世界の標準を設定している組織や団体と積極的に協力している。

AHAM, CEA, CABA, Continua Health Alliance, CEDIA, ITU, IPSO Alliance,

		NIST, Open ADR Alliance, USNAP	
	T T C 活 動 と の 関 連 性 (注2)	TTCの専門委員会活動との関係(☒関係あり、☐関係なし) 関係する場合の専門委員会名(右欄より選択) 理由: Home ManagementやEnergy Managementに関係 するため	⑮IoTエリアネットワー ク ④IoT・スマートシティ
9	活 動 状 況	Z-Wave Alliance は、展示会やパビリオン、プレゼンテーション、パネルディスカッションなどの展示会や会議に年間を通じて積極的に参加。また、Z-Wave Alliance のメンバだけが参加できる技術イベントや非技術イベントも多数開催。 イベント ・ 2023/5/17-18 IoT Tech Expo North America ・ 2023/5/17-18 AI + Big Data Expo North America ・ 2023/1/5-8 CES 2023 ・ 2022/11/15-17 Z-Wave's Member Meeting Summit 2022 ・ 2022/10/5-6 IoT Tech Expo North America ・ 2022/10/2-6 Light +Building 2022 ・ 2022/9/29-10/1 CEDIA 2022 ・ 2022/9/13-15 Works With 2022	
10	設 立 時 期	2005 年 Z-Wave Alliance は、2005 年初頭に大手家庭用制御製品メーカーのグループによって設立された。各メーカーは、当時生まれつつあった家庭用制御業界の将来性を阻んでいた技術の断片化に不満を抱いていた。彼らの目標は、この業界を不確実で不明確な未来から、実用的で広範囲な現実へと移行させることだった。	
11	本 部 所 在 地	The Z-Wave Alliance 3855 SW 153rd Drive, Beaverton, OR 97003 USA Tel: +1.503.619.0851	
12	関 連 標 準 化 技 術	Z-Wave技術について: Z-Waveプロトコルは、相互運用可能な無線RFベースの通信技術であり、住宅用および軽量の商用環境における制御、監視、およびステータス読み取りアプリケーション用に特別に設計されています。成熟し、実績があり、広く導入されている(世界中で1億以上の製品が販売されています。)Z-Waveはワイヤレス制御の世界市場をはるかにリードしており、日常生活のあらゆる面で、手頃な価格で信頼性が高く使いやすい「スマート」製品を数百万の人々に提供している。  Z-Wave技術の要点: ・ コーディネータノードを必要とせずにフルメッシュネットワークをサポートする低電力RF通信技術 ・ 1GHz未満の帯域で動作する2.4GHz帯のWi-Fiおよび他のワイヤレステクノロジー(Bluetooth、ZigBeeなど)の干渉を受けない ・ Z-Wave PHYおよびMACレイヤは、ITU-T Recommendation G.9959により定義されている。 ・ Z-Waveが使用する周波数の詳細については、Z-Wave Alliance Recommendation ZAD12837「Z-Wave transceivers-Specification of Spectrum Related Components」を参照 ・ 制御およびステータスアプリ専用設計されており、AES128暗号化、IPV6、およびマルチチャネル動作により、最大100kbpsのデータレートをサポート	

		・すべてのバージョンとの下位互換性を備えた、レイヤ6を通じた完全な相互運用性を確保 ・ OpenADR, SEP 1, SEP 1.1、その他のSmart Energyプロトコルとのブリッジとトレイルが可能 ・ NIST/SGIP標準カタログでIEEE 802.11、802.15、および802.16ファミリーと同じ位置を共有 Z-Wave仕様 https://z-wavealliance.org/development-resources-overview/specification-for-developers/		
13	備考 (IPR Policy, Bylaws など)	メンバシップ・アプリケーションアグリーメント https://z-wavealliance.org/application-processess/ 内にPDFで存在する。		
14	備考 (普及状況など)	Z-wave製品の検索サイト http://products.z-wavealliance.org/ 日本市場向けの製品 https://products.z-wavealliance.org/regions/8/categories		
15	更新年月	2017年11月8日	初版作成	担当: 東(富士通)
		2021年6月18日	更新	担当変更: 鬼頭(KDDI) 団体内ストラクチャの大幅変更を反映
		2023年7月26日	更新	組織構成、メンバ数、活動状況ほか

(2020年度版)

(注1) 日系企業とは親会社が日本企業かどうかで判断する。

(注2) 「TTC活動との関連性」とはTTCの専門委員会の活動と関連しているかを示す記載とし、理由には具体的な専門委員会名と関連している部分等を記載する。